

津山ぐらし体感オンラインツアー実施業務委託事業者審査基準  
(優先交渉権者の選考方法)

I 優先交渉権者の選考方法および得点配分について

1 優先交渉権者の選考方法

(1) 優先交渉権者の選考

優先交渉権者の選考については、以下の評価項目において、各基準により評価する。

①企画意図

- ・企画内容が、発注者の目的及びコンセプトに合致しているか。

②業務の実施体制

- ア 津山市仕事・移住支援室との協議体制を含めた業務の実施体制が十分に整っているか。
- イ 過去の実績や個人情報管理の徹底を含めた信頼性のある取組体制から、事業遂行能力が十分であると認められるか。

③参加者募集

- ・参加者を集めやすい募集方法や募集時期、時間、参加費設定などを考えているか。

④実施内容

- ア オンラインを活用した津山ぐらし体感ツアー（以下「オンラインツアー」という。）の内容が明確に示されているか。
- イ 参加者が津山ぐらしを体感しやすいプログラムが設定され、移住や多拠点居住に繋がるより高い事業効果が見込まれる内容となっているか。
- ウ 工夫やアイデアが豊富で、参加者に訴求力がある内容となっているか。
- エ 参加者の満足感を高める様々な実施手法が検討されているか。
- オ オンラインツアーが、準備、後片付けを含め、適切な運営が確保できるタイムスケジュールとなっているか。

⑤全体スケジュール

- ・計画的な全体スケジュールとなっているか。

⑥その他加点項目

- ・上記の他、業務全体の実施にあたり、予算の範囲内において、移住や多拠点居住へとつながる効果的な提案がなされた場合は別途加点する。

⑦費用

- ・費用対効果の観点から適正な見積額となっているか。  
(予算額の範囲内で最大限の効果を得られる内容となっているか。)

以下の前提条件を満たし、後述に定める採点方法により算出した、各項目の点数の合計が120点以上で最も高い者を、優先交渉権者として決定する。なお、応募者が1者の場合であっても、同様に評価を行うこととし、各項目の点数の合計が120点以上の者を、交渉権者として決定する。

【前提条件】

- ① 提案価格が「提案上限額」の範囲内であること。
- ② 業務期間内でスケジュールが組まれていること。

(2) 最高得点者が2者以上あった場合の優先交渉権者の決定方法

最高得点者が2者以上あった場合は、くじ引きにより優先交渉権者を決定する。

2 評価項目の配点

上記評価項目の点数については、合計200点満点とする。得点配分については【表1 評価項目の配点】のとおりとする。

【表1 評価項目の配点】

評価項目		配点
①企画意図		30
②業務の実施体制	ア	10
	イ	10
③参加者募集		20
④実施内容	ア	15
	イ	15
	ウ	15
	エ	15
	オ	10
⑤全体スケジュール		15
⑥その他加点項目		15
⑦費用		30
合計		200

II 各評価項目の採点方法について

1 ①～⑥の採点方法

上記「I-1-(1)」に記載した評価項目について、企画提案書の内容により評価を行う。

なお、各項目の採点にあたっては、【表2 企画提案書及び企画提案ヒアリング評価の判断基準】に基づき、0点から5点の6段階による評価を行い、【算出方法1 ①～⑥】の計算式により配点を算出する。

【表2 企画提案書及び企画提案ヒアリング評価の判断基準】

評価点	判断基準
5点	創意・工夫があり、特に効果的な内容である。

4点	
3点	平均的な内容である。
2点	
1点	指定した記述項目は網羅されているが、内容が乏しい。
0点	指定した記述項目が網羅されていないか、網羅されていても不適切な記述内容である。

【算出方法1 ①～⑥】

「①～⑥」 = 評価委員の評価点の和 ÷ 評価委員数 ÷ 5 × 各評価項目の配点  
 ⇒ 上記計算を各項目でそれぞれ算出し、その総和の小数点以下第1位を四捨五入し、配点とする。

2 ⑦の採点方法

「企画提案実施要領」に記載した提案上限額により、「見積書（様式第5号）」に記載された見積価格の評価を行う。

なお、見積価格の採点にあたっては、【算出方法2 ⑦】の計算式により価格点を算出する。

【算出方法2 ⑦】

$$「⑦」 = \left[ 1 - \frac{(\text{提案価格} - \text{提案上限額の80\%})}{(\text{提案上限額} - \text{提案上限額の80\%})} \right] \times 30 \text{点}$$

※小数点以下第2位を四捨五入

① 見積価格が見積上限額の80%以下の場合は、一律、30点とする。

② 見積価格については、必要に応じて、価格調査を行う。